

「おななはなななな」(ナナ)週刊(おななはななな)

明けましておめでとうございませう。いまだんと夢をみています。新年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

おななはななな



自身で掲げた「おななはななな」の名の通り、お寺から飛び出した活動に力を注ぎつづけた昨年は、本当にたくさんの方と巡り逢い、ありがたいう縁に恵まれた一年でした。

市民センターやデパート、経営者の集まる勉強会、カネに雑貨店と様々な場所でお話をさせていただき、数年前の私からは全く想像できなかった「今」と過ごしています。

昔の私はとてつと、実は人見知りとする人間でした。信じられないうちやうすが、本當です。今のように自分から積極的に他人と関わりようとはありませんでした。もっと、もっとが「楽」だったからだと思います。しかし、今の私は、どんどん人と関わり、ますます縁と前をいまいたいと積極的に動いています。

私の行動が真逆になったのは、「自分は、こう生きたい」という信念とをもち、つづきまわが、がチツと決まったからです。カッコ悪いとは思いますが、「大きな夢、生きたい目的ができた」といつか、さっかけとなる大きな出来事が立て続けに起こり、理想と現実の狭間で苦しみ中、悩みをきた末に出した答えが、「自身の志に従って、理想を求め生きたい」というものになりました。

こう決断したことにより、「何をしたらいいのか」と悩むことはなく「今どき生きたいのか、や、こみよう」と、思いつくことから実行するようになったのです。実際に動き出してしまつと、自身を取り巻く環境は驚く程変わりました。肉体的には、決して「楽」ではありませんが、精神的には、よりたくさんの喜びや楽しさを感じることができるようになりました。

私が動き出すまでは、一年間という長い時間がかりました。その間、ずっと悶々とした日々を過ごしていました。思い返すと、なぜ動かないのか、そんなに悩んでいたのだらうと反省しますが、今ではこれも私には必要な時間であったと受け止めています。この体験のおかげで、「願ひを叶えるためには、自分から動いて変わらなければいけない。待つことも何も起らないし、何も変わらないう」という事実と私は身をもって実感することができました。だからこそ、「現実はあるに甘くない」と言わねばなりません。「理想を掲げたい求めることが、現実と変える力を生み出していく」と、今の私は自信をもって信じていることがたくさんあります。

私の夢



私の大きな夢は、仏さまの本願を受け継ぎ実現することです。「生きたい生きたいを求めたい救いたい」という仏さまの本願と自身の願ひとをこまめに、仏さまの説かれた道と自分の歩む道として生きたいことです。

私が今取り組んでいることは、一見お坊さんのする活動ではないように感じますが、お寺にこそ、しかし、私にとつては、自分の夢に向かつていく、小さな大切な活動です。おかげさまで、少しずつではありますが、お寺へと足を運んで下さる方、お寺や仏教へと興味を持って下さる方が、増えてきました。大きな想いから始まった小さな活動。熱い想いと込めた種まき活動。「まいた種が花咲き実を結び、また新たな種と成る耳吹いて」とそんな未来にワクワクしながら、今年初めに自身の近き願ひを仏さまにお伝えしたのでした。